

エコアクション21

環境活動レポート

(対象期間) 平成28年1月～平成28年12月 (28年度版)



株式会社ツカサ精密

作成日：平成29年1月31日

目次

	頁
1、事業概要	3
2、組織図	4
3、環境方針	5
4、環境目標	6
5、環境活動計画	7
6、環境活動計画の取組み結果	8
7、環境活動計画の取組み結果の評価・次年度の取組み内容	9
8、環境関連法規の取りまとめ	10
9、緊急事態の想定訓練	11
10、環境関連法規への違反・訴訟等の有無	12
11、代表者による全体の評価と見直しの記録	12

1、事業概要

1-1 経営理念

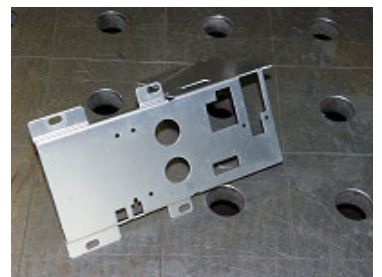
- 3つのことに良い会社をつくろう
- 1、社員にとって良い会社をつくろう
 - 2、お客様にとって良い会社をつくろう
 - 3、地域社会にとって良い会社をつくろう

1-2 会社概要

- 1) 社名 株式会社ツカサ精密
- 2) 創業 1984年(昭和59年)2月
- 3) 所在地 本社工場：〒321-0404 栃木県宇都宮市芦沼町3270-1
第2工場：〒321-0404 栃木県宇都宮市芦沼町3277-20
- 4) 代表者 渡邊 清司
- 5) 資本金 1,000万円
- 6) 従業員数 30名
- 7) 敷地面積 本社：1,857㎡ 第2工場：903㎡
- 8) 環境管理責任者及び連絡先 辻 匡史
TEL:028-674-4189 FAX:028-674-4290
E-Mail tuzi@your-tukasa.co.jp
URL:http://www.your-tukasa.co.jp

9) 事業活動の内容

あらゆる産業機械（精密測定機器・高度医療機器・産業ロボット・
半導体製造機器・福祉健康機器・監視カメラ）に使用される精密板金の設計・製造



1-3 認証・登録範囲

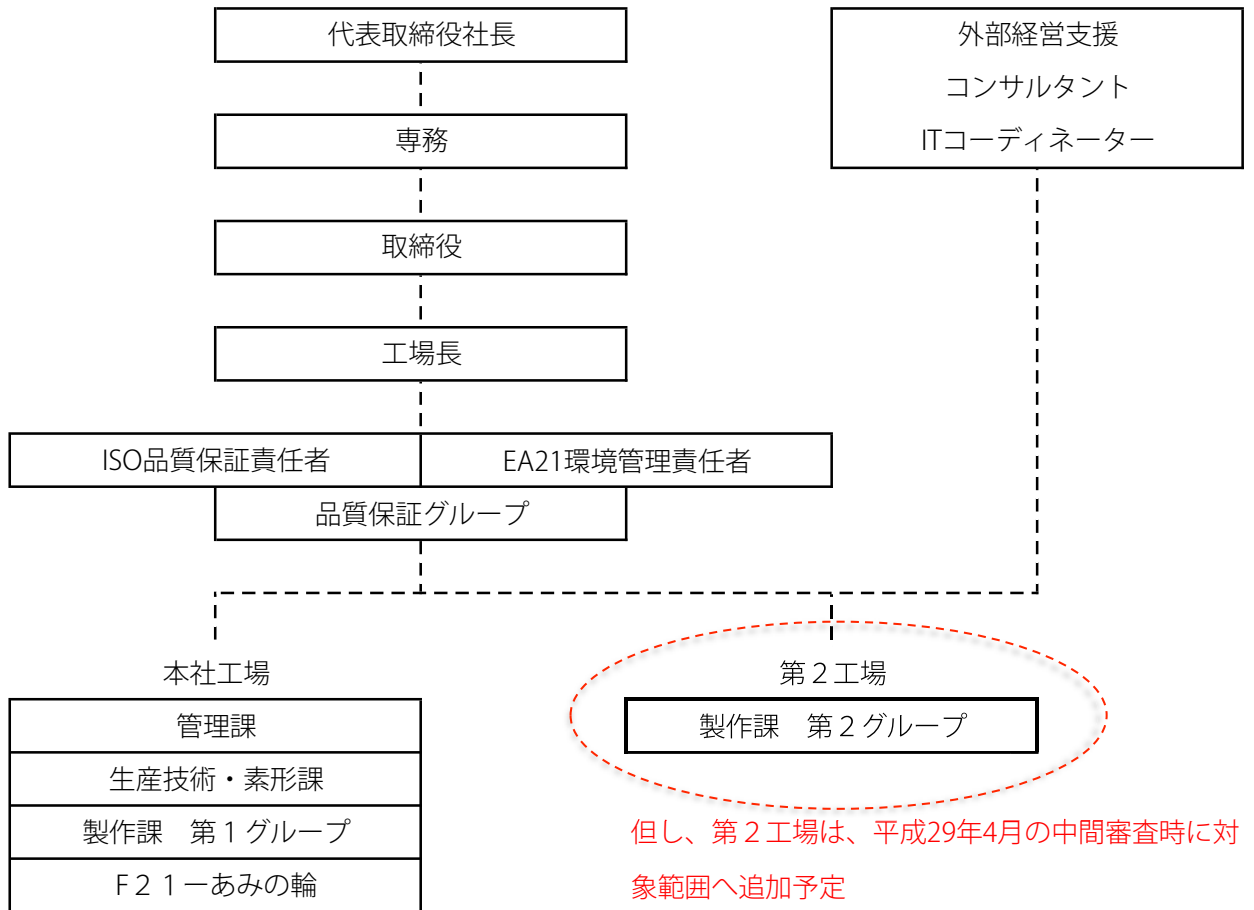
- 対象事業所 本社工場：栃木県宇都宮市芦沼町3270-1
第2工場：栃木県宇都宮市芦沼町3277-20
(但し、第2工場は、平成29年4月の中間審査時に
対象範囲へ追加予定)
- 事業活動 産業機械に使用される板金部品の設計・製造



ISO9001:2008 認証取得

ISO9001:2008を認証登録しています。

2、組織図



社長	<ul style="list-style-type: none"> ・環境管理責任者を任命する。 ・環境方針を制定する。 ・推進に必要な要因、技術、資金等を準備する。 ・環境経営システムに必要な文書及び記録を承認する。 ・環境経営システム全体の評価と見直しを行う。
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営システムの取組みの実行責任者として活動を推進する。 ・環境への負荷及び取組みの自己チェックの実施リーダー ・環境目標及び活動計画の達成状況の確認を行い、社長に報告する。 ・環境関連法規の取りまとめ、最新チェック及び遵守状況を確認する。 ・外部からの苦情や要望を受ける窓口 ・文書、記録を管理する。 ・代表者による全体の評価と見直しのための情報を報告する。
部門リーダー	<ul style="list-style-type: none"> ・部門ごとに活動計画を策定し、達成状況を把握して環境管理責任者に報告する。 ・部門ごとの教育訓練の実施リーダー
社員	<ul style="list-style-type: none"> ・活動計画の担当者として実行する。 <p>システムで定めたルール及び取組み事項を自発的、積極的に実施する。</p>

3、環境方針

環 境 方 針

環境方針

- 1、地球の環境を守るために、自らの活動を実施し寄与します。
- 2、クリーンな作業環境を維持し満足と秩序ある職場をつくりまします。
- 3、良い環境・良い人間・良い仕事を通して社会の発展に貢献します。
- 4、事業を推進するにあたり、関連する法規等を遵守します。
- 5、環境方針は、社員教育や事業活動を通じて全社員に周知します。

重点項目

- 1、エネルギー使用量の削減により二酸化炭素排出量の削減に務めます。
- 2、廃棄物の削減・リサイクルに務めます。
- 3、節水活動に務めます。
- 4、化学物質の管理に努めます。
- 5、グリーン購入を推進します。
- 6、当社が販売・提供する製品及びサービスの環境負荷の低減に務めます。

2012年1月25日

株式会社ツカサ精密

代表取締役 渡邊 清司

4、環境目標

※機械入れ替え・車両入れ替えのため基準値を平成26年に修正

※29年度4月の中間審査後、第2工場増設のため基準値を平成29年度に変更予定

目標項目		年度	平成26年度	平成27	平成28年度	平成29年度	平成30年度
			(基準値) (26年1月～26 年12月)	年度 (27年 1月～2 7年12 月)	(28年1月～2 8年12月)	(29年1月～2 9年12月)	(30年1月～3 0年12月)
1、二酸化炭素 排出量の削減 (CO2排出量＝ 0.375)	二酸化炭素排出量 (会社全体)	Kg-CO2	176,262	174,499	172,737	170,974	169,212
			100%	99%	98%	97%	96%
	電気使用量	Kwh	424,597	420,351	416,105	411,859	407,613
			100%	99%	98%	97%	96%
	ガソリン使用量	ℓ	839	831	822	814	805
			100%	99%	98%	97%	96%
軽油使用量	ℓ	5,431	5,377	5,322	5,268	5,214	
		100%	99%	98%	97%	96%	
2、廃棄物排出 量の削減	一般廃棄物	Kg	1,080	1,069	1,058	1,048	1,037
			100%	99%	98%	97%	96%
	産業廃棄物 (廃油)	ℓ	800	792	784	776	768
			100%	99%	98%	97%	96%
	産業廃棄物 (廃プラ・他)	Kg	・排出量が少ないため数値目標は持たない。				
リサイクル (金属くず)	Kg	116,071	115,839	115,723	115,606	115,491	
		100%	99.8%	99.7%	99.6%	99.5%	
3、水使用量の削減	節水活動	—	—	・生活用水しか使用していないので数値目標は持たない。			
4、化学物質の管理	化学物質の 維持管理	—	—	・購入化学物質一覧の作成・維持管理			
5、グリーン購入	購入品目件数	—	—	・対象品目の調査、購入品目のリスト化のため数値目標は持たない。			
6、提供する製品つ くり	客先不良の削減	件	103件	101件	99件	97件	95件

5、環境活動計画

28年度（平成28年1月～平成28年12月）

	項目	実施項目	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	担当者	
			月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月		月
二酸化炭素排出量の削減	1、空調温度適正化・表示確認	適切な温度管理 夏：冷房28° 冬：暖房24°	→												各GL	
	2、照明・PC電源不用時の電源OFFの推進	こまめな消灯 事務機器の節電	→												各GL	
	3、空調清掃の実施	年2回の 一斉清掃の実施	→									→				管理課
	4、エコドライブの推進	停車中の アイドリングストップ 急発進の制御	→												環境整備 担当者	
	5、配送ルートの再検討	毎日の配送ルートの 適正化	→												管理課	
	6、現場の電気使用量の削減	①LED化・HF管に変更 ②電気使用量の測定（個別測定）	→												管理課	
廃棄物の削減	1、焼却ゴミ置場の整理・整頓	月1回の整理整頓	→												全社員	
	2、ダンボール箱の再利用	使用したダンボール箱を再利用 （宅配用も含む）	→												関係者	
水の投入削減源	1、節水	表示をして注意を促す	→												全社員	
化学物質管理の適	①保管場所の整備 ②SDSの入手 ③化学物質維持管理 ④アルゴンガスの適正管理	①保管場所の整理整頓 ②最新のSDSを入手 ③脱脂洗浄液の管理 ③-1 使用量の把握 ③-2 環境に配慮した洗浄液の検討 ④圧力調整器を使用	①	→											関係者	
			②	→												
			③	→												
			④	→												
グリーン購入	1、対象品目の比率向上	対象品目の調査表を記入	→												管理課	
提供する製品について	1、客先不良の削減	是正・予防に努める	→												全社員	
自社商品について		①「BLB」ブランド運営	①	→											あみの輪	
		②「BLB PONTAの」運用	②	→												
社会貢献について		宇都宮ブリッツェン 宇都宮村上塾のスポンサー	→												関係者	

6、環境活動計画の取組み結果

項目	年度		(平成26年度)	平成28年度					取組み結果の評価	次年度の計画
				期間対象(平成28年1月~12月)						
				目標	%	実績				
				売上対比 目標		28年度 実績	%	達成状況		
1、平成28年度二酸化炭素排出量は、平成26年度対比2%削減とする。	二酸化炭素排出量 (会社全体)	Kg-CO2	176,262	172,737 ----- 156,769	98	175,313	112	未達成	電気使用量の目標が達成できなかった。 考えられる原因は、28年8月より第2工場が稼働したためと考えられる。 ガソリン使用量は、27年12月からガソリン使用車がなくなったため実績なし	次年度は、第2工場の電気使用ルールを決めデータ収集を行う。
	電気使用量 排出係数0.375	Kwh	424,597	416,105 ----- 377,639	98	429,909	113	未達成		
	ガソリン使用量	ℓ	839	831 ----- 846	98	—	—	—		
	軽油使用量	ℓ	5,431	5,586 ----- 5,066	7月より基準値再設定	5,372	106	未達成		
2-1、平成28年度廃棄物は、平成26年度対比2%削減する。	一般廃棄物	Kg	1,080	1,058	98	1,530	145	未達成	あみの輪(研究棟)の在庫品を整理した結果、一般廃棄物が増加してしまった。	グリーン購入で一般廃棄物の削減をする。
	産業廃棄物 (廃油)	ℓ	800	784	98	800	102	未達成		
	産業廃棄物 (牌プラ・他)	Kg	廃プラ・他は、少量のため数値目標は持たない。							
2-2、金属材料のリサイクル	リサイクル金属	Kg	116,071	113,750	98	81,883	72	達成		継続
3、水使用量の削減	節水活動の継続					節水活動				継続
4、化学物質の管理	①新たに購入・変更した場合はSDSを入手する。 ②保管場所の整理・整頓 ③交換サイクルの見直し					①SDSを入手し管理している。 ②環境整備の日に実施 ③随時、見直しを実施	①新たに購入・変更なし ②環境整備の日に実施した。 ③随時、検討はしているが現状よりも良い製品はなかった。		継続	
5、グリーン購入法	購入件数					購入品目の調査				継続
6、環境に優しい製品	顧客不良件数	件数	103	101	98	35	34	達成	品保Gのメンバー変更、及び是正・予防の方法を変更した結果、良い結果がでた。	継続

7、環境活動の取組み結果の評価、次年度の取組み内容

7-1 環境活動計画の取組み結果とその評価

1、二酸化炭素排出量の削減

二酸化炭素排出量の電気使用量が未達成であった。原因として考えられるのは第2工場の増設で照明や新機器導入もあったため電気使用量が増加したと考えられる。

軽油使用量は達成できた。効率の良い配送ができたと思われる。(ガソリン使用量は使用車が無くなったため実績なし)

2、廃棄物の削減

産業廃棄物(廃プラ・他)は、少量のため数値目標は持たない事にした。

一般廃棄物の目標が達成出来なかったのは、受注量の増加が原因だと思われる。

3、水資源投入量の削減

『節水』の表示をする事で、水の出しっぱなしは少なくなった。

生活用水のみの使用で数値目標は持っていないが、製品の水漏れ検査のために使用した水が多くなっている。

4、化学物質使用量の管理

交換サイクル見直しを行って化学物質の購入量を削減できた。

保管場所の維持管理(整理・整頓)を実施した。

5、グリーン購入比率の向上

関係部署でグリーン購入の勉強会を実施した。

6、提供する製品について

本年度は、不良対策メンバー及び対策方法の見直しを実施し、前年度比5.8%減少させる事ができた。

7、地域貢献

28年度フロンティア企業に認定

ロードバイク体験シミュレーター「BLB PONTA」

自転車を使用した新しい技術で地域に貢献しました。



7-2 次年度の取組み内容

2016年8月より、第2工場が稼働し本社・第2工場と2ヶ所の場所での環境改善活動の実施が始まり、二酸化炭素排出量がどのように変化するかを観察する。

8、環境関連法規の取りまとめ

主な適用法規		対象の施設・設備・業務等	要求事項	遵守状況 3月	遵守状況 9月
1	廃棄物処理法	一般廃棄物 紙くず、生活ゴミなど	宇都宮市の一般廃棄物委託基準	OK	OK
		産業廃棄物 廃油・廃プラ・木くずなど	<ul style="list-style-type: none"> 委託基準：産業廃棄物運搬 処理業者の許可書確認と契約書 	OK	OK
			マニフェストの管理と産業廃棄物管理表交付状況報告書	OK	OK
2	高圧ガス保安法	高圧ガスの貯蔵	貯蔵タンクの保守点検	OK	OK
3	消防法	火災報知器、消火器	<ul style="list-style-type: none"> 火災報知器の設備と定期点検 消火器の点検 	OK	OK
4	電気事業法	野外キューピクル (自家用変電設備)	<ul style="list-style-type: none"> 電気工作物月次点検報告書 自家用電気工作物試験成績書 (年次) 	OK	OK
5	騒音規制法	コンプレッサー	定格出力7.5Kwの届出（設置時）	OK	OK
6	振動規制法	コンプレッサー	定格出力7.5Kwの届出（設置時）	OK	OK
7	浄化槽法	浄化槽の設置	保守点検、清掃の実施	OK	OK

9、緊急事態の想定訓練・勉強会

『避難訓練・消火訓練』の様子（28年11月22日実施）

28年度は、弊社にて避難訓練・消火訓練を行いました。



避難訓練・消火訓練アンケート実施（30名）

○避難訓練・消火訓練を実施しての感想

普通：4名 良かった：17名 無回答：9名

○アンケート報告内容（抜粋）

- ・訓練を重ねていく事で防災に対する意識が少しずつ身に付くので良かったと思います。
- ・工場内の消火器が設置してある場所の「設置マップ」を作成して社員全員に設置場所を周知しておいた方が万が一のときに動けると思いました。
- ・初めて消火器を使い勉強になった。

10、環境関連法規への違反、訴訟等の有無

平成28年3月・9月に遵守状況の確認・評価を行った結果

- ・環境関連法規等の違反はありませんでした。
- ・訴訟等も過去3年間ありませんでした。

11、代表者による全体の評価と見直しの記録

去年8月に第2工場が完成し、運用する事になり電気設備の使用環境の変化並びに空調設備の増数で、電気使用量も変化し総体的に変化の中身を確認していきたい。その他、我々がこのエコアクション21の活動を行う目的を理解して環境問題と私達の実労働、行動との因果関係を理解して活動を進めていきたい。作業の効率を追求する活動の結果として、利益率を高める事他に、同じ作業を少しでも時間の短縮が実現できれば動かす機械の電気使用量の削減でもあり、人が働く環境の照明や空調に関する経費の削減であり、ムダを削減することにつながる。時間を短縮する行動の中には、エコアクション21の活動の目的である二酸化炭素排出量の削減につながる要素が大きいことに注視して改善活動を進めていく。